

対象国の条件 : 特になし

研修コース番号 : J1804258

案件番号 : 1884551

主分野課題 : 運輸交通/国際交通

副分野課題 :

使用言語 : 英語

案件概要

同時多発テロ以降、航空機を利用した自爆テロ等のテロ行為は多様化・増加しており、航空への脅威は絶えない。ICAOや国際社会は各国に一致した対応を求めているが、知識や経験の不足から十分に対応がとれない途上国は支援を必要としている。本コースは、ICAOの定めるルール、航空保安体制や対策等について座学を通じて習得し、保安検査手法や各種事案発生時の対応等について実技訓練や訓練実習を通じて習得することを目的に実施する。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

本セミナーで得られた知識（航空保安対策の国際基準、日本の航空保安対策の規程や制度、航空保安検査機器の運用等）をふまえ、航空保安を強化するためのアクションプラン案が作成されるとともに、その実現に向け各国の関係者に共有される。

【対象組織】

航空保安関係政府機関。

【成果】

1. 日本の航空保安体制と経験を学ぶことにより航空保安対策の重要性について理解を深める。
2. ハイジャック防止体制及び防止対策に関する知識を深める。
3. 航空保安検査機器に関する基本知識を深める。
4. 自国における航空保安対策に対する問題点を検討し、各保安対策のアクションプラン案を作成する。

【対象人材】

1. 航空保安もしくは空港管理に責任のある行政担当者。
2. 航空保安分野における5年以上の職歴を有し、かつ、研修終了後も長期に渡って参加国の航空保安業務に貢献できる者。
3. 大学卒または同程度の学力がある者。
4. 英語が堪能（会話、記述）な者。
5. 心身共に健康である者。

内 容

【事前活動】

1. 自国の航空保安に関するカントリーレポートの作成。

【本邦研修】

1. 以下の内容の講義、実習、視察、討論を行う。
 - ・日本の航空行政の仕組みと国際協定、空港管理の概要、制限区域における保安対策と警備システム、ハイジャック防止対策と航空保安プログラムの概要、品質管理の概要、航空貨物の保安対策の概要。
 - ・ハイジャック発生時の対応、空港における保安検査、航空会社による国内及び国際便の保安対策、保安検査員等への教育訓練方法、国際空港における保安対策。
 - ・爆発物に関する基礎知識、新技術を利用した保安検査機器とシステム。
2. アクションプラン案を作成し、発表・討議する。

本邦研修期間

2019/1/17～2019/2/22

担当課題部

社会基盤・平和構築部

所管国内機関

JICA横浜

関係省庁

国土交通省

実施年度

2017～2019

主要協力機関

一般財団法人 空港保安事業センター

**特記事項
及び
ホームページ**

国土交通省航空局航空保安関連ウェブサイト（英語）

http://www.mlit.go.jp/koku/15_hf_000024.html